

○目指す子ども像(共通) 主体的に学び、互いに思いやり、認め合い、助け合う児童生徒

重点目標(児童生徒の共通する課題より) (1) コミュニケーション能力を育成するための“言語活動の充実”～聞き取る・読み取る・伝え合う。

○洛西中学校めざす生徒像 1. 自分の良さを認め、幸せを追い続ける生徒 2. 他人(ひと)の良さを認め、他人(ひと)のために行動する生徒

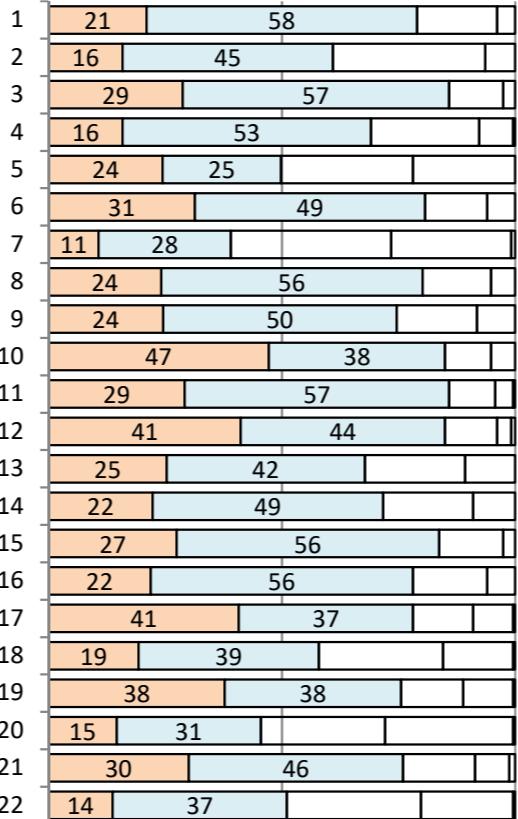
(2) 自己有用感や自己肯定感を獲得させることにより自尊感情を高める。

3. 最後まであきらめず、一生懸命に頑張り抜く生徒

※単位は%

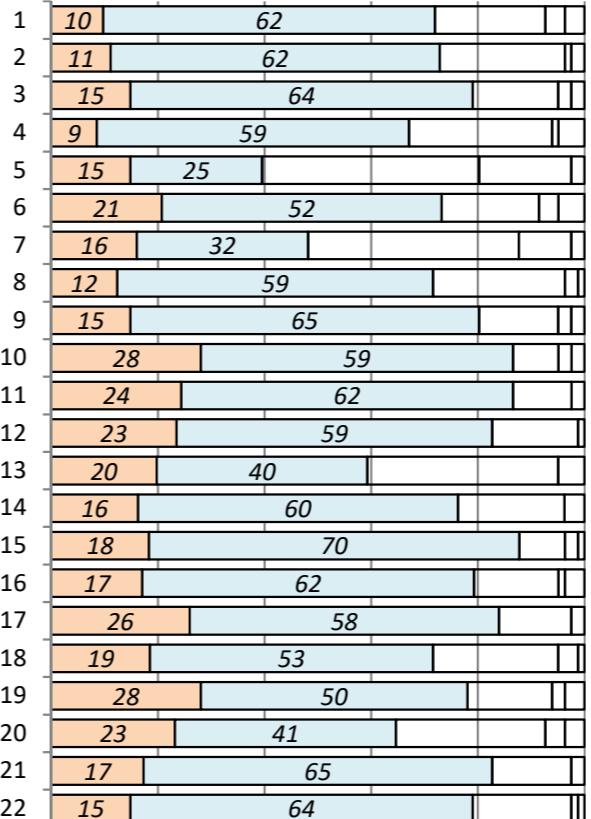
質問項目	
確かな学力	① 学習したことを理解し、基礎的・基本的な学力を身に付いていると思いますか。
	② 自分の意見や考えを進んで伝えることができますか。
	③ 人の意見や考えをしっかり聞くことができますか。
	④ 自分の意見や考えをわかりやすく書くことができていますか。
	⑤ すすんで読書をしていますか。
	⑥ 忘れ物をせずに、学習の準備をすることができていますか。
	⑦ 毎日時間を決めて、家庭学習をしていますか。
	⑧ 先生の授業は、わかりやすいですか。
	⑨ 先生は、授業や学校生活の中で、自分ががんばったことを認めてくれていますか。
豊かな心・健やかな体	⑩ 学校に楽しく通うことができていますか。
	⑪ 学校で、先生や友達から大切にされていると思いますか。
	⑫ 地域の人や先生、友だち等に、きちんとあいさつができていますか。
	⑬ 早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活が送っていますか。
	⑭ 自分に良いところがあると思いますか。
	⑮ 学校のきまりや地域でのマナーを守ることができていると思いますか。
学校・家庭・地域の連携	⑯ 学校の取組を通じて、豊かな心をはぐめていると思いますか。
	⑰ 学校・学年・学級だよりや、学校のお知らせプリントなど、お家の人に見せていますか。
	⑱ 先生にわからないことや悩みごとを相談していますか。
	⑲ お家の人に、学校のできごとについて話をしていますか。
	⑳ 行事や参観、懇談会等に家の人が来てくれることを楽しみにしていますか。
	㉑ お家人や先生から、ほめられることがありますか。
	㉒ 地域の方との交流や地域・PTAの行事を、楽しみにしていますか。

生徒



そう思う 大体そう思う あまり 思わない 空白

保護者・学校運営協議会



そう思う 大体そう思う あまり 思わない 空白

	そう思う	大体そう思う	あまり	思わない	空白			
生徒	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人
①	21	10	58	62	17	21	4	4
②	16	11	45	62	33	23	6	1
③	29	15	57	64	12	16	3	2
④	16	9	53	59	23	27	7	1
⑤	24	15	25	25	28	41	22	17
⑥	31	21	49	52	13	18	6	4
⑦	11	16	28	32	34	40	26	10
⑧	24	12	56	59	15	25	5	2
⑨	24	15	50	65	17	15	8	2
⑩	47	28	38	59	10	9	5	2
⑪	29	24	57	62	10	11	4	0
⑫	41	23	44	59	11	16	3	1
⑬	25	20	42	40	21	36	11	5
⑭	22	16	49	60	19	20	9	0
⑮	27	18	56	70	14	9	3	2
⑯	22	17	56	62	16	16	6	1
⑰	41	26	37	58	13	14	9	2
⑱	19	19	39	53	27	23	15	4
⑲	38	28	38	50	13	16	11	2
⑳	15	23	31	41	27	28	27	4
㉑	30	17	46	65	15	15	7	0
㉒	14	15	37	64	29	19	20	1

「確かな学力」 (アンケート番号①～⑨)

大きな行事も終わり、3年生は進路実現に向けて具体的な取り組みが始まっています。しっかりと目標が設定できた生徒は、落ち着いて授業に取り組んでいるが、まだ迷いのある生徒が、不安から落ち着かない状況も見受けられる。1年生や2年生も、成果の出来た教科もあり、次年度に向けて、授業のきまりをしっかりと守り、授業を大切にする取り組みを進めていく。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

☆アンケート①の結果についておおむね良好である。しかし各種調査では基礎的基本な事項等の理解不足、訓練不足は依然としてられる。新学習指導要領の完全実施に向けて、授業規律の徹底と基本的な学習内容の訓練を中心に、授業を大切にする姿勢を身に付けさせたい。

② 表現力の向上

☆アンケート②④の項目で自分の意見や考えを「伝える」「書く」ことについては、前回と大きく変わることはなかった。じっくりと一人で考えることを基本として、仲間とのつながりの中で、自らの考えを深め、しっかりと定着させる場面を、意図的に作ることを引き続いだり取り組んでいきたい。小中が連携して改善のための取組を進めていきたい。

③ 家庭学習の習慣化

☆依然として、読書や学習の習慣など、学習に向かう習慣づけの部分が伸び悩んでいる。ひとりで学習し、訓練していく方法や継続していく力を授業の中でどのようにつけていくかが次年度に向けての課題だと考える。

「豊かな心・健やかな体」 (アンケート番号⑩～⑯)

アンケートの結果より、概ね肯定的な意見であるが、項目毎に見ると、課題が見られる部分がある。

① 豊かな心の育成

☆アンケート⑭「自分には良いところがあるか」について生徒は約7割が肯定的な回答となり前回と同様の結果となった。しかし保護者は前回が82%が肯定的な回答であったのに対し、今回は76%と若干下回った。また⑩「学校に楽しく通えているか」で保護者の数値が若干下がったのも気になる。生徒が家で話す時間がもしかすると減っているのではないかと考える。引き続き仲間との繋がりの中で自己有用感を育て、自尊感情を高めていく必要性を強く感じる。

② 基本的生活習慣の確立

☆アンケート⑬について、肯定的な回答が前回が約71%であったのに対し、今回は67%と下がっている。保護者の回答も76%から60%に下がっている。2学期という学校行事等が影響しているのではないかと考える。今後も生徒・保護者への啓発、保護者との連携が必要である。

③ 学校の取組で、豊かな心を育めているか。

☆アンケート⑯では、肯定的な回答をした生徒が前回8割を超えていたが、今回78%と下がった。学校行事を終えた学期のアンケートとしては残念な結果となった。学校の決まりを守り、リズムある生活の中で、学校行事やクラスの取組に全力で当たり、仲間づくりを進めていくことを3学期も引き続き進めていきたい。

① 開かれた学校づくり

☆アンケート⑯「家の人に学校のことを話しているか」の質問に、今回も前回同様76%が肯定的な回答をしている。なかなか家で話をしない年ごろとしては高い数値だと考えている。⑪「学校の配布物を見せていくか」に約2割の生徒が「いいえ」の回答であった。学校と家庭とのパイプを太くする工夫が必要だと考える。

② 子どもの良いところを見つけ、ほめること

☆アンケート⑯「先生に相談」⑯「ほめられる(ほめる)」⑯「保護者来校」について、前回と同様に、生徒と大人の差が大きい。家庭・学校が協力し、子どもとていねいに接するこし、認め、ほめることで、自信へつなげることができるよう、はたらきかけていくことが大切である。